

# 大谷學報

第93巻 第1号

2013年10月30日発行

―― 悲しみのはたらき――	喪失と悲嘆……………佐賀枝夏文 (1)	―― 襖・障子が織り成す「間」からの視座――	仏教保育からの環境デザイン試論……………富岡量秀 (19)	学位論文審査要旨…………… (38)	彙報…………… (101)	二〇一二年度 修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧…………… (71)	二〇一三年度 春季公開講演会「決断と行動」講演録 ドラマを始める……………門脇 健 (21)	―― ヘーゲルの観たハムレット――	「正義」の仮面に隠された怒りと羨望……………片田珠美 (50)	プラグマティズムと科学・宗教……………林 研 (1)	―― ウィリアム・ジェイムズの真理観――
---------------	---------------------	------------------------	-------------------------------	--------------------	---------------	--	---	-------------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------

大 谷 大 学  
大 谷 学 会

大 谷 学 報

第九十三巻 第一号

二〇一三年十月三十日発行

第三三九号

## THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

### CONTENTS

#### Articles:

Study of Loss and Grief: Grief Work……………SAGAE Natsufumi ( 1 )
A Consideration of Possibilities for Environmental Design Based on Buddhist Principles in Early Year Education and Care: The Perspective from the “Space” Created by Japanese Screens ( <i>fusuma</i> and <i>shōji</i> ) …………… TOMIOKA Ryōshū ( 19 )

Examination Report of Theses Presented for the Degree of Doctor of Literature…………… ( 38 )
--

Titles of Theses Presented for MA and BA Degrees, 2012 Academic Year…………… ( 71 )
---

#### Résumés of Papers Presented at the Otani Public Lecture, Spring 2013

“Decision and Action” Anger and Envy Hidden beneath the Mask of “Justice”… KATADA Tamami ( 50 )
Starting the Drama: Hamlet as Seen by Hegel……………KADOWAKI Ken ( 21 )
Science, Religion, and Pragmatism: William James on Truth …………… HAYASHI Ken ( 1 )

#### Reports

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

二〇二二年度

春季公開講演会「閉塞感と宗教的知」講演録  
自縛と解放の智慧…………… 延塚知道

——本願の教えに聞く——

タテとヨコの文化論…………… 玄侑宗久

——震災からの復興を巡って——

二〇二一年度

修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧  
彙報

学位論文審査要旨

保育における拡大された同僚性の検討：  
ノーザン・ケンタッキー大学図書館の  
教育サービス…………… 黒澤祐介

デジタル教科書を活用した社会科の授業

「社会政策から社会保障へ」の発展：  
——無抛出制年金、失業扶助、家族手当の成立——  
…………… 岩渕信明  
…………… 安井喜行

…………… 大城善盛

…………… 漢那憲治

…………… 瀬戸口誠

浄土真宗の建学精神…………… 川村覚昭

——真宗教育の可能性——

金代における宗室と佛教…………… 桂華淳祥

——「勅使大徳」と起塔地をめぐる——  
…………… 今西智久

彙報

学位論文審査要旨

二〇二二年度 研究発表会 発表要旨

コミュニティソーシャルワークにおける  
コミュニティ概念…………… 黒澤祐介

…………… コミュニティ概念…………… 黒澤祐介

「愛」についてのジャック・ラカンの  
二つの定型表現…………… 番場 寛

### 大谷学会規程

#### (設置)

第1条 大谷大学（大谷大学大学院、大谷大学短期大学部を含む。以下「本学」という。）に大谷学会（以下「本会」という。）を置く。

#### (目的)

第2条 本会は、本学の学術研究の推進と、その成果の公開を目的とする。

#### (事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「大谷学報」の発行
- (2) 「大谷大学研究年報」の発行
- (3) 研究会及び公開講演会の開催
- (4) その他必要な事業

#### (会員)

第4条 本会は本学の教育職員（専任職員及び契約職員）及び学生をもって会員とする。  
2 前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者は、会員となることができる。

#### (役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 委員
- (4) 監事

第6条 会長には大谷大学長が当たり、本会を代表する。  
第6条の2 副会長には学監・副学長が当たり、会務を統理する。

2 副会長は、第3条第1号及び第2号の編集兼発行者となる。

第7条 委員は10名とし、教授会において互選

する。  
2 委員は、企画、編集、出版等の会務に当たる。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任をさまたげない。

第7条の2 会務を円滑に遂行するため、庶務を置くことができる。

第8条 庶務は本会委員の中から会長が委嘱する。  
2 庶務は、2名とし、教授会において互選する。任期は2年とする。

#### (研究発表等)

第9条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

#### (会費)

第10条 会員の会費は、年額四〇〇〇円とする。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。

#### (運営経費)

第11条 本会の経費は、会費をもってこれに当てる。  
2 本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

#### (事務所管)

第12条 本会の事務は、教育研究支援部教育研究支援課の所管とする。

#### (規程改正)

第13条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。  
付則  
1 この規程は、一九八一年四月一日から施行する。  
2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学報第九十二卷第一号  
平成二十五（二〇一三）年十月三十日発行

編集兼 大谷学会

発行者 水島 見一

発行所 大谷学会

〒六三八四 京都市北区小山上総町  
大谷大学内

振替 〇一〇四〇七一八三九三番  
（〇七五）四一八一五八〇

印刷者 中西隆太郎

（大谷学会委員）

阿部 利洋	加藤 丈雄
東館 治	ダシユシヨバラニ
山内 清郎	山本 彰円
采翠 晃	渡部 洋